

## 2. 取組内容の進捗状況(令和3年度)

【京都大学・東京外国語大学】

【事業の名称】(採択年度 令和2年度 タイプA)

アフリカにおけるSDGsに向けた高度イノベーション人材育成のための国際連携教育プログラム

### ■ 交流プログラムの実施状況



〈京都-アフリカIAIP短期オンラインコース開講式(2021年9月21日)〉

- 京都大学・東京外大で、合計3名の日本人学生のアフリカへの長期派遣を開始した。
- 京都大学では、2021年9月から12月に、アフリカの大学の学生向けの短期オンラインコースを実施し、7カ国から10名の学生が参加した。
- 東京外大では、2021年8月から9月に国際オンラインスタディツアーを実施し、ルワンダと日本から37名が参加、13名に修了書を発行した。
- 国際合同コンフェレンスを2回開催した。2021年11月の東京外大の開催時には、2日間にわたる6つのセッションに各66名程度の参加があった。2021年12月の京都大学のオンライン開催時には、11カ国12大学31名が研究発表をおこなった。

### 交流プログラムにおける学生のモビリティ

#### ○ 日本人学生の派遣

- 京都大学では、2022年2月から3月にアジスアベバ大学(エチオピア)との共催により日本人学生向けのオンライン短期コースを実施し、計7名が参加した。また日本人学生2名が、それぞれカメルーンとマダガスカルでの長期派遣を開始した。
- 東京外大では、プロテスタント人文・社会科学大学(ルワンダ)とのオンライン講義で、日本人学生5名に単位を付与し、日本人学生13名に修了証(単位付与無し)を発行した。さらに、ステレンボッシュ大学と実施したオンライン講義で、日本人学生6名に修了証を発行した。また日本人学生1名がプロテスタント人文・社会科学大学への長期派遣を開始した。

#### ○ 外国人留学生の受入

- 京都大学では2021年9月から12月に、アフリカの大学の学生向けの短期オンラインコースを実施し、7カ国から10名の学生が参加し、修了証を発行した。
- 東京外大では、プロテスタント人文・社会科学大学から2名の学生を受け入れた。

	R3	
	計画	実績
学生の派遣	12	34
学生の受入	10	12

### ■ 質の保証を伴った大学間交流の枠組形成に向けた取組

- 「アフリカ大学世界展開力強化事業国内会議」を組織するとともに、「日本アフリカ高度専門人材育成支援委員会」「アフリカ実務組織・大学交流会」「日本・アフリカ大学教育交流ミーティング」をオンラインで開催したことにより、今後の本事業における各大学・組織間との連携を深め、成績評価システムや単位認定などの制度面の拡充に向けた体制を構築できた。
- アフリカ7大学と学生交流協定を締結したことにより、次年度以降に学生の派遣・受入を実施する連携体制を整備することが出来た。

### ■ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備

- 本事業の事務局担当者として、京都大学において2021年4月から特定研究員2名、事務補佐員1名を雇用した。東京外国語大学では、2021年4月から事務補佐員を雇用したほか、特定助教1名の雇用を昨年度より継続した。
- 2022年3月、アフリカへの留学を希望する日本の学生および、日本への留学を希望するアフリカの学生を対象として、専攻、支援制度、過去の受入実績、受入教員の情報など、日本・アフリカの大学の留学情報に関して、高度な検索機能を備えたデータベースサイトを構築し、運用を開始した。このデータベースにより、留学を希望する学生が、学びたい内容や各大学の受け入れ体制および支援制度について、詳細な情報を容易に検索できるようになった。

### ■ 事業の実施に伴う大学の国際化の状況情報の公開、成果の普及

- アフリカ7大学と京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科等とで部局間学生交流協定を締結した。さらにアフリカ4大学と京都大学の関連部局の間で協定締結の合意が出来ており、次年度中に締結することでさらに対象校を拡充する予定である。そのうち、アジスアベバ大学とコチュテルプログラムの実施に向けた協議を開始した。
- 東京外大では、教員のルワンダ・ザンビア出張を実施した。結果、2022年秋受入についてプロテスタント人文・社会科学大学(ルワンダ)からは過去最多の3名、ザンビア大学からは初となる2名の申請があり、受入人数の増加につながった。

### ■ グッドプラクティス等

- 2回の国際合同コンフェレンス(オンライン)の実施により、アフリカの大学からの参加を得たことで、アフリカSDGsの多様性への理解を深め、日・アフリカの双方の学生が参加し合うことによるイノベーション共創につながる基礎を築くことができた。
- 2名の学生をアフリカから受け入れ、オンラインで冬季集中プログラムに参加させ、単位を付与した。



〈第2回国際合同コンフェレンス参加者集合写真(2021年12月13日)〉